

書初め展準備(1月10日)



令和4年度
杉並区立松溪中学校

SHOU
KEI

松溪だより

1月号



<http://www.suginami-school.ed.jp/shoukeichu/>

教育目標

- 自学・自立
- 思いやり・感謝
- 鍛錬

「愛と希望と勇気の日に想う—新年の抱負—」

校長 辻 成一郎

新年を迎えました。本年もよろしくお願ひいたします。

1959(昭和34)年1月14日、第三次南極観測隊が、昭和基地で生き残っていた、タロとジロの2頭の犬を発見しました。このニュースは、日本中で反響を呼び、大きな感動を呼びました。

そして、この日は、「タロとジロの日」となり、「…この2頭の犬の勇気をたたえ、生きることへの希望と愛することの大切さを忘れないために…」(日本記念日協会)ということで「愛と希望と勇気の日」と呼ばれるようになりました。

前年2月、第二次南極観測隊は、基地に近づけず、観測船「宗谷」に積まれていた飛行機で、第一次越冬隊員と最低限の物資、南極で生まれた子犬たちと母犬のみを回収した後、引き返しました。「宗谷」を助けて来た最新の砕氷船でさえ避難しなくてはならなかった分厚い氷と、観測史上まれに見るといふ磁気嵐の影響でした。犬ぞりに使っていた犬たちも鎖につないだままでした。第二次越冬隊員を送り込むこともできませんでした。状況の回復をギリギリまで待ちましたが、改善しませんでした。

犬を置いて来たことは、やむを得ぬことだったとはいえ、日本中から非難されました。「犬係」であった北村泰一隊員は、せめて犬を弔いに行つてやろうと思い、再び第三次南極観測隊に志願しました。何も経験のない犬たちを、犬ぞりが引けるように、号令通りに動けるように調教し、一番犬を愛していたのは彼でした。最初の隊員が発見した後、警戒して近寄れない犬たちへの対処をするため、北村隊員が呼ばれた時の様子は、以下のようなものでした。

『「なあ。お前はクマか？」

反応がない。

「それではモク？」

私はこうして黒い犬たちの名を片っぱしから呼んでみた。直感的に、思い当たる犬、つまり強く逞しかった犬の名を呼んでみるのだが、反応はなかった。最後に、

「タロ？」

ともう一度呼んだとき、しっぽがピクッと動いたような気がした。

「タロ……？」

ともう一度呼んだとき、今度ははっきりしっぽが動いた。アッ！ 反応があった！

「おまえはタロ！ するとおまえはジロか？」
今度は、もう一頭の犬が招き猫のように右足をちょいと上げた。これはジロの癖であった。そう思つて見ると、ジロらしい犬の胸と前足には白い毛がまじっていた。これはジロの外見上の特徴であった。

もう間違いはない。犬たちも私を思い出したらいい。しっぽを振り出した。この二頭がタロとジロとわかったとき、にわかに私は胸にグッと熱いものが込み上げてきた。“よくもまあ……”と。

あとは言葉にならなかった。』(「南極越冬隊タロジロの真実」北村泰一著)



国立科学博物館と北海道大学に剥製として残るタロとジロ

北村隊員の「愛」は、極寒を生き抜いた犬たちの中に確かに残っていました。

また、南極観測隊が派遣されるまでには、多くの人の希望と実現への苦労がありました。日本は、国連の「国際地球観測年」を記念して始まった南極観測に参加できませんでした。南極観測が開始されたのは、日本が国連の一員として認められたからでした。

砕氷機能を持った観測船も日本にはありませんでした。そこで、ソ連(現ロシア)に依頼されて建造された後、太平洋戦争中に数々の戦闘に参加しながら生き残り、「奇跡の船」と呼ばれた「宗谷」を改造して観測船としたのです。

南極観測開始と成功は、復興した日本の希望となる出来事の一つでした。

「愛と希望と勇気」を胸に多くの方々々が努力し、今の日本の繁栄と平和があります。

心配な出来事が続いています。今年も、「愛と希望と勇気」を忘れず、「目標」をもち、学校を、自分を、よくするためにチャレンジし、精一杯の努力を忘れず、皆様とともに前に進んで行ける1年にしたいと思います。



船の科学館 HP より

令和4年度杉並区教育調査アンケート結果報告

令和4年度「学校評価アンケート」の数値データをお知らせいたします。年末のお忙しい時期、多くの保護者の皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。本校の「学校評価アンケート」は杉並区教育委員会が実施している教育調査と学校独自のアンケートを合わせたものです。保護者や地域の皆様に学校への理解を深めていただくとともに、生徒を含めた皆様のご意見を来年度の教育計画に反映させ、学校・保護者・地域がより連携・協力しながら、学校をよりよくしていくために実施しています。

なお、回答の「5：とても思う」と「4：思う」の割合を肯定率(%)として数値で表しています。

【生徒アンケート集計結果】 回答率 82.6%

	質問	肯定率
杉並区調査	1 先生は、クラスみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	69.3
	2 授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	58.2
	3 授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	35.4
	4 授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。	50.7
	5 授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	71.4
	6 学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	73.9
	7 先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	57.5
	8 先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	83.6
	9 先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	63.6
	10 道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	68.9
	11 先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	69.6
	12 学校や家などで、1か月に本、新聞、雑誌、調べ物をするための資料などを読んだ。	57.9
	13 地域の行事に参加している。	28.9
	14 先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	37.5
学習指導について	15 わたしは授業の内容を理解できている。学校の授業で学ぶことにより、わかることやできることが増えている。	62.1
	16 先生は黒板の書き方やプリントなど、わかりやすい指導を工夫してくれている。	68.6
	17 先生は評価について、丁寧に説明してくれる。	66.8
	18 道徳の授業では、自分の生き方や命の大切さを考えられている。	65.0
	19 わたしは自分で課題を見つけて、自ら学ぶようになった。	47.9
	20 授業中、自分の考えや気持ちを発表することがよくある。	39.6
	21 わたしは使用上の注意を守り、授業でタブレットを活用している。	82.5
	22 わたしは使用上の注意を守り、家庭学習でタブレットを活用している。	63.2
	23 タブレットを活用することで、学習内容の理解を深めたり、課題に取り組みやすくなったりしている。	68.6
	24 家庭学習は毎日おおよそ何時間くらいしていますか。(塾は除く) 5:2時間以上 4:1時間以上 2時間未満 3:30分以上 1時間未満 2:30分未満 1:0冊	43.6
	25 今現在(12月)、「自学ノート」は何冊目ですか。 5: 10冊目以上 4: 5冊目以上 3: 2冊目以上 2: 1冊目 1:0冊	18.6
生活指導について	26 わたしは自分から挨拶をしている。	78.9
	27 わたしは自分と違う意見や考え、気持ちを大切にできている。	74.6
	28 わたしは心や体の健康に気をつけたり、体力が高められる工夫をしている。	59.6
	29 わたしはみんなと協力をして当番活動(給食や清掃など)にしっかりと取り組んでいる。	75.7
	30 わたしは学校のきまりをきちんと守っている。	76.4
	31 わたしは食事や睡眠など規則正しい生活を心掛けている。	49.3
学校行事	32 わたしは楽しみにしている学校行事がある。	64.3
	33 行事では、一人一人に成長するチャンスがある。	68.0
	34 学年や学級で団結して行事に取り組むことができている。	70.0
進路指導	35 学校は将来の進路や生き方・働くことの意味について考える指導をしてくれている。	59.6
	36 学校では生き方や進路について、先生に相談することができる。	46.1
	37 学校は進路に関する情報を十分に提供してくれる。	53.2
学校の取り組み	38 学校は家庭学習が定着するよう指導してくれている。	40.7
	39 学校は安全な学校生活を送れるよう考えてくれている。	70.7
	40 学校は自分の考えをまとめ、発表する力を育てようとしてくれている。	64.3
先生について	41 先生は、熱心に指導してくれる。	61.8
	42 先生は、誰に対しても、公平に接してくれる。	42.9
	43 学校内に気軽に話をしたり、悩みを相談できる先生がいる。	44.3
	44 先生は、あなたの良いところや努力したところを認めてくれる。	58.2
学校全般	45 学校生活が充実している。	68.6
	46 わたしは松溪中学校が好きである。	55.7
読書活動について	47 わたしは朝読書によく取り組んでいる。	65.0
	48 わたしは月に1冊以上の本を読んでいる。	55.0
	49 わたしは休み時間や放課後に学校図書館を利用している。	29.3
	50 わたしは学校図書館で本を借りている。	54.6
その他	51 将来実現したい夢や目標がある。	54.6
	52 今の自分を「好き」と言える。	37.5

【保護者アンケート集計結果】 回答率 79.1%

			肯定率
杉並区調査	1	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	74.6
	2	連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。	59.7
	3	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	64.2
	4	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	77.6
	5	子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	55.2
	6	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	56.7
	7	学校は、ICT 機器(電子黒板やデジタル教科書等)を活用した授業を行っている。	75.0
	8	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	73.5
	9	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	74.6
	10	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	46.6
	11	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	41.8
	12	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子どもと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	17.5
	13	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	63.4
学習指導について	14	説明やワークシート、黒板のまとめ、ICT 機器の使用など、わかりやすく授業を工夫している。	56.7
	15	学校は、学習の評価についての説明や情報提供をしている。	66.4
	16	道徳の授業は、自分の生き方や命の大切さを考える機会になっている。	55.2
	17	子どもは自分で課題を見つけ、進んで勉強をしている。	42.2
生活指導	18	子どもは家庭学習が定着している。	44.0
	19	学校はあいさつの励行やきまりを身につけさせ、学校生活が向上するように指導している。	65.7
	20	学校はいじめや不登校を解決するために、相談にのったり、話し合ったりしている。	41.4
学校行事	21	学校は子どもの学校生活が充実し、楽しめるように指導している。	67.2
	22	学校行事では、子どもが活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している。	69.0
進路指導	23	子どもは、学校行事に楽しく取り組んでいる。	72.8
	24	学校では将来の進路や生き方、働くことの意味について考える指導をしている。	58.6
学校の取り組み	25	学校では進路について、情報提供があり、相談する機会がある。	59.0
	26	学校の教育方針や指導の重点が明確である。	54.5
	27	教職員が協力して生徒指導を行っている。	60.4
教職員について	28	学校は、発表会・外部講師の授業など様々な取り組みを行っている。	71.3
	29	先生は、子どもを大切にしてくれる。	73.9
	30	先生は授業や行事などの教育活動に熱心に取り組んでいる。	75.7
学校の安全性	31	先生は、子どもの教育について相談すると丁寧に対応してくれる。	66.0
	32	学校は子どもの安全を守るための指導や訓練を行っている。	65.7
	33	学校は子どもの安全確保のための情報を適切に保護者へ提供している。	63.1
	34	学校の施設の安全性は確保されている。	68.7
地域連携	35	学校のコロナ対策は適切に行われている。	67.5
	36	学校は地域の人材や施設を教育活動に活かしている。	58.6
情報提供	37	学校は地域の活動や行事に協力している。	65.3
	38	学校からの様々な通信に、保護者として知りたい情報が盛り込まれている。	66.4
学校全般	39	学校公開や保護者会などは、学校を知る機会となっている。	72.8
	40	子どもは学校生活が楽しいと感じている。	71.3
	41	学校では朝読書など読書活動の取り組みが充実している。	69.8
	42	わたしは保護者会に参加したり、行事を参観したりするよう心掛けている。	66.8

【学校運営協議会アンケート集計結果】 回答率 100%

			肯定率
杉並区調査	1	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている。	60.0
	2	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている。	50.0
	3	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている。	50.0
	4	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭や地域、民間の団体や企業等と連携している。	80.0
	5	児童・生徒 1 人 1 台専用のタブレット端末や学習 e ポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている。	70.0
	6	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	60.0
	7	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している。	70.0
	8	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員(学校関係者を含む)と話し合ったりしている。	60.0

教育活動の紹介

校内書き初め展(1月31日まで)

冬休みの宿題である「書き初め」を校内で一斉に展示する「校内書き初め展」が今月31日まで、各教室に展示されています。松溪中学校3学期当初の恒例行事です。

1月10日(火)、三学期初日の放課後、各クラスの国語係を中心に廊下に掲示しました。各学年の表彰生徒は以下になります。



【金賞】

3年…松林息吹、押野愛美、土肥美陽
2年…田中那奈、近澤凜音、栗原愛実
1年…小林大雅、下河優那

【銀賞】

3年…小野寺澯、鯨 南菜、高野稔也
2年…澤野朱里、久古谷明音、宮崎 愛
1年…松林穂高、米澤めい、藤井彩乃

【銅賞】

3年…佐々木香南子、藤井心春、岩橋 諒、
早川 碧、野澤娃娃
2年…大野馨子、岡田光汰、池田夏埜、
岡田恵理、北川夏帆、石川千遥、
森 千鶴
1年…菅さくら、霜島かなた、桜井そよ香、
小松原咲良

1・2年生 校内百人一首大会(1/14実施)

松溪中学校の1月の恒例行事である「百人一首大会」が1月14日(土)、杉並かるた会の皆様方をお呼びし、実施いたしました。2年生が1校時、1年生は2・3校時にアリーナにて、真冬の熱戦が繰り広げられました。



2月の予定

- 1日(水) 校内研修(道徳)1クラスをのぞき、4時間授業
都立高校一次・分割前期出願(始)2月7日まで
- 2日(木) 都立高校推薦入試発表日
専門委員会
- 3日(金) 中央委員会
- 6日(月) 生徒朝会
- 8日(水) 杉教研一斉研究会(教員研修)のため4時間授業
- 10日(金) 私立高校一般入試(始)3年⑤⑥カット
1年理科出前授業(3~6校時)
- 11日(土) 建国記念日
- 13日(月) 朝礼、学校運営協議会(16:00~)、質問教室
- 14日(火) 質問教室
- 15日(水) 小中合同研修会
- 16日(木) 避難訓練、質問教室
- 17日(金) 職員会議
- 18日(土) 土曜授業、新入生保護者説明会(14:00~)
- 20日(月) 安全指導、質問教室
- 21日(火) 都立高校一次・分割前期試験
- 23日(木) 天皇誕生日
- 24日(金) 定期考査(社、技家、音)
- 27日(月) 定期考査(国、理、美)
- 28日(火) 定期考査(英、数、保体)

表彰

令和4年度杉並区青少年善行表彰

【個人】

伊東 椰(1年) 岡 侑実(1年) 田中 雷(1年)
中島颯心(1年) 本間悠月(1年)

成田青少年育成委員会主催事業「2022秋の親子防災ウォークラリー」において、参加者が楽しみながら防犯を学べるコーナーを担当する等、地域住民の防災意識の向上に寄与しました。

【団体】JRC部

麻生蔵ノ助(3年) 安藤颯真(3年) 飯田稜真(3年)
神林希歩(3年) 時田直哉(3年) 西岡正太(3年)
早川菜留海(3年) 保見楓太(3年) 村田恵祐(3年)
阿部灯里(2年) 高橋 汎(2年) 戸頃礼夢(2年)
内藤花音(2年) 細谷柚菜(2年) 川上大河(1年)
小泉英恵(1年) 永井聖和(1年) 野戸奏花(1年)
山口真奈(1年)

校内において自校の生徒に対し、自主的に募金活動を行い、ルワンダの子どもたちの支援に役立てられる「日本赤十字社主催ルワンダ子ども支援募金」に寄付しました。

■サッカー部

杉並区冬季研修大会 優勝